

令和2年7月21日

部農会長・部農会会員の皆様へ

J A 伊 豆 の 国
韮山営農センター

第3回 (7/21号)

水稻病虫害発生予察の結果について

①生育状況

平坦地の生育は遅れており、前年同時期と比較すると分けつ数が5~6本少ない、20本前後の圃場が多く見られました。現在20本前後の圃場は来週あたりが中干しの適期になると思われます。小坂地区、白山堂地区は中干しに入っていました。

既に中干しに入っていた神島地区や山間地の田原野地区の圃場では幼穂形成が確認されました。前年と同程度か少し早い生育状況です。

神島地区は出穂前20日頃、穂肥の適期となっています。NK化成2号(10kg)かIB4号(20kg)の施用を検討して下さい。(ナイスワンパワーを施用した圃場は必要ありません。)

②害虫状況

どの地区においてもウンカの発生が確認されています。現状は消毒の必要な発生量ではありませんが、昨年同時期と比較しても少し多い発生量です。今後の発生に注意して、薬剤散布による防除を検討して下さい。

山間地の田原野地区ではクモヘリカメムシが見られました。出穂後、籾を加害するカメムシです。出穂前に畦畔や周辺雑草地の除草作業など、被害軽減に向けた準備をして下さい。

<カメムシのオススメ防除>

薬剤名：スタークル粒剤

薬量：3kg/10a

時期：出穂後7~10日後(穂が傾いた頃)

備考：カメムシ以外にもウンカ類やヨコバイ、ニカメイチュウ等の害虫にも効果あり。



クモヘリカメムシ

<除草剤>中干し時に使用

○バサグラン粒剤 3~4kg/10a

定植後15~55日(収穫60日前まで) 本剤1回

足跡に水が残る位まで、水を抜いてから散布。

散布後も3日は水を入れず、雨が降らない日を狙う。

○2, 4-Dアミン塩 1本(100ml) / 10a 1,000倍

使用時期→有効分けつ終止期~幼穂形成期前ただし収穫60日前まで

※生長点に作用するので、中干し1週間後を目安に雑草にかかるように散布。

問い合わせ：韮山営農センター 西島・田中 055-949-0055